



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月24日

上場取引所 東

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

コード番号 2268 URL <http://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺 裕明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部 経理部長

(氏名) 肥沼 邦幸

TEL 03-3449-0331

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日

平成27年9月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	8,570	0.5	△296	—	△260	—	△118	—
26年12月期第2四半期	8,530	△8.6	△2	—	22	△95.1	9	△95.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	△12.32	—
26年12月期第2四半期	1.03	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	18,219	10,185	55.9
26年12月期	17,063	10,772	63.1

(参考)自己資本 27年12月期第2四半期 10,185百万円 26年12月期 10,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
27年12月期	—	40.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,700	5.9	950	53.0	980	61.5	510	80.9	52.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記情報)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期2Q	9,644,554 株	26年12月期	9,644,554 株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	8,561 株	26年12月期	8,561 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期2Q	9,635,993 株	26年12月期2Q	9,635,993 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
当社は、当第2四半期決算短信提出後速やかに当社ホームページに決算説明の動画を配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成27年1月～6月)における我が国経済は、円安効果による輸出環境の改善や経済政策の効果により緩やかな景気回復が続いておりますが、震災以降の消費行動の変化による外食市場の縮小と中食の増加など、お客様の消費選別がますます進展いたしました。その影響により外食業界では業態を超えた競争が激化し、更に平成26年4月の消費増税による可処分所得の実質目減りなど国内景気の下振れ要因もあり、依然厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーであります“*We make people happy.*”「アイスクリームを通じて皆様に幸せを。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN(楽しいこと、嬉しいこと、感動すること)”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

今年のマーケティング戦略としては、女子高校生やファミリー層を中心とした既存のお客様を、魅力的なキャンペーンの実施や新しい商品の発売により確実に取り込んで売上の向上を図ってまいります。そのためTVCMやSNSのメディアを活用してキャンペーンや商品をしっかり告知いたします。

営業面においては、1月はアイスクリームの詰め合せ商品であるバラエティパック・ギフトボックスをお買い上げのお客様に、‘スノーピー’ハッピー小皿をプレゼントするニューイヤープロモーション(1月1日～1月12日)を実施し、フレーバーのバラエティさ・楽しさを訴え、高単価商品の拡販とヘビーユーザーの再来店を促進いたしました。また、ハッピードールには今年の干支に因んだお正月限定の“ひつじ”(1月1日～1月12日)を登場させ、イトイン商品強化による新規顧客の獲得を図りました。更に、アイスクリームケーキでは、大人気のディズニー映画「アナと雪の女王」とタイアップした“‘オラフ’ハッピースノーマン”(1月1日～)を新発売し、アイスクリームケーキへのお客様の興味を喚起して拡販を図りました。

そして1年で最もチョコレート需要が高まるこの時期に、チョコレート尽くしのプロモーション「チョコレートフェスタ」(1月13日～3月3日)を実施して、幅広い顧客層の購買意欲を高めました。商品ラインナップとしては新しいフレーバーの“ラブポジションサーティワン ダーク”に加え“ジャーマンチョコレートケーキ”、“アマレットショコラ”などサーティワンの豊富なチョコレートフレーバーの中から選りすぐりの7種類を取り揃えました。サンデーでは、期間限定の4種類のチョコレートサンデーや新しいアイスクリームの食べ方を提案した“チョコレートフォンデュ”をバラエティパックとセットで販売いたしました。

「チョコレートフェスタ」と並行して実施した「ひなまつりセール」(2月16日～3月3日)では、オケージョン商戦の売上を確保するため“ひなだんかざり”、“おひなさまカップ”、“いちごおひなさまカップ”など期間限定商品を販売いたしました。更にひなまつり仕様の“ひなまつりアイスクリームケーキ”2種類を2月28日までにご予約いただいたお客様に「キッズコーン券」プレゼントを実施いたしました。

3月4日からは、5年目を迎える「ワンダフルイースター」フェア(3月4日～4月5日)を実施し3月の売上増を図りました。この期間はイースターらしいタマゴをモチーフにした“シングルエッグカップサンデー”に新商品“ダブルポップスクープサンデー”を加え、持帰り商品として“イースターバラエティBOX”、イースターに因んだアイスクリーム2種類(トリプルフルーツガーデン、イースターエッグハント)を販売するとともに、フェアのスタートに合わせてアイスクリームケーキ“ひよっぴー”を新発売いたしました。

更に、ヘビーユーザーやミドルユーザーの来店頻度を高め冬場の売上を下支えする為、1月13日から4月5日までの83日間、期間中お買上げ200円ごとにスタンプ1個を押印し、スタンプ12個でキッズコーンまたはキッズカップをプレゼント、スタンプ20個で500円相当の商品と交換する全店共通の“スタンプカードキャンペーン”を実施いたしました。

ゴールデンウィーク期間中(4月24日～5月10日)にはダブルコーン・ダブルカップを31%値引きして提供するキャンペーンを行ない、TVCMでの告知を実施しヘビーユーザーや新しい顧客へ周知し来店促進を図りました。

5月は11日から30日まで戦略商品のアイスクリームケーキのTVCMを実施するとともに、店頭告知を強化し、売上増へと繋げました。

6月は、日頃のご愛顧の感謝を込めて「THANK YOU 4」プロモーション(6月1日～6月28日)を実施しました。これはスモールサイズのダブルコーン・ダブルカップと同じ値段で、ミニサイズ・スクープを4種類選べ、更にアイスクリームが40%増量の大変お得なプロモーションです。これについても期間中TVCMで告知をして拡販を図り、来店者数を伸ばしました。

店舗開発及び改装の状況といたしましては、平成26年から新しい店舗デザイン「Happy1.0」を導入し、店舗イメ

ージ刷新を図っております。新しい店舗は当期21店開設し、当第2四半期末の店舗数は1,173店舗と前第2四半期末に対して15店舗増加いたしました。改装は当期36店実施し、既存店へも新しい店舗デザインの導入促進をいたしました。

以上のように、キャンペーンの実施や商品の強化と出店・改装の推進により、売上増進に取り組んでまいりました。

しかし売上高は、平成26年4月の消費税増税の影響の長期化と、食品その他の一斉値上げによる消費意欲の緊縮傾向により外食市場全体が縮小したため、85億70百万円（前年同期比0.5%増）と、ほぼ前年並みという結果となりました。

売上原価は、国内乳原料価格上昇及び円安による輸入原材料価格上昇が影響し、41億94百万円（前年同期比15.4%増）となっております。

販売費及び一般管理費は、46億73百万円（前年同期比4.6%減）となりました。これは昨年とのマーケティング・プランの違いやTVCMの投下時期の違いによる広告宣伝費の減少（2億8百万円）が主な要因です。

以上の結果、営業損失は2億96百万円（前年同期は営業損失2百万円）、経常損失は2億60百万円（前年同期は経常利益22百万円）、特別利益として神戸三木工場設備の国庫補助金（3月）が76百万円あり、四半期純損失は1億18百万円（前年同期は四半期純利益9百万円）と、当第2四半期累計期間は微増収減益となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産は前事業年度末に比べ11億55百万円増加の182億19百万円となりました。これは主に、売上が減少したことによる売掛金の減少がありましたが、短期借入による現金及び預金の増加、7月以降の製品需要増に備えた製品及び原材料の増加と、神戸三木工場建設等による有形固定資産の増加がこれを上回ったため、総資産は増加いたしました。

負債は前事業年度末に比べ17億42百万円増加の80億33百万円となりました。これは主に、神戸三木工場建設等にかかる未払金の減少がありましたが、運転資金の調達による短期借入金増加と、ショッピングセンター内店舗の売上金が当社を経由して加盟店に支払われるため一時的に発生する預り金の増加がこれを上回ったため、負債は増加いたしました。

純資産は前事業年度末に比べ5億86百万円減少の101億85百万円となりました。これは主に、剰余金の配当額と四半期純損失の計上により繰越利益剰余金が減少したことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成27年4月24日公表の「平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,982,026	2,421,637
売掛金	2,859,504	2,305,981
製品	697,354	1,255,519
原材料	438,741	672,975
貯蔵品	237,268	141,471
前渡金	45,397	64,040
前払費用	179,136	240,258
繰延税金資産	32,194	153,426
未収入金	17,570	54,107
未収還付法人税等	52,675	-
その他	236,606	120,486
貸倒引当金	△393	△338
流動資産合計	6,778,081	7,429,567
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,473,182	3,782,232
減価償却累計額	△1,223,013	△1,286,411
建物(純額)	2,250,168	2,495,820
構築物	332,417	446,626
減価償却累計額	△153,927	△161,993
構築物(純額)	178,490	284,632
機械及び装置	2,284,778	3,568,107
減価償却累計額	△1,770,043	△1,824,079
機械及び装置(純額)	514,734	1,744,028
賃貸店舗用設備	3,513,430	3,604,513
減価償却累計額	△1,953,484	△2,038,898
賃貸店舗用設備(純額)	1,559,945	1,565,614
直営店舗用設備	418,142	427,541
減価償却累計額	△190,971	△191,955
直営店舗用設備(純額)	227,170	235,585
車両運搬具	72,064	80,685
減価償却累計額	△40,514	△45,523
車両運搬具(純額)	31,549	35,161
工具、器具及び備品	759,070	816,193
減価償却累計額	△627,767	△622,257
工具、器具及び備品(純額)	131,302	193,935
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	1,245,368	15,940
有形固定資産合計	6,834,093	7,266,082
無形固定資産		
ソフトウェア	146,383	147,605
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	163,448	164,671

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年6月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	41,832	45,258
長期貸付金	2,397	2,006
従業員に対する長期貸付金	7,728	6,967
破産更生債権等	138,644	155,496
長期前払費用	541,343	510,541
繰延税金資産	123,792	123,347
敷金及び保証金	2,446,580	2,528,835
その他	19,685	19,685
貸倒引当金	△34,021	△32,975
投資その他の資産合計	3,287,982	3,359,163
固定資産合計	10,285,524	10,789,916
資産合計	17,063,606	18,219,483

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	535,769	774,336
短期借入金	-	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	199,952	199,952
未払金	2,028,691	1,409,699
未払費用	32,685	36,261
前受金	919,795	776,955
預り金	116,800	533,179
賞与引当金	27,694	35,140
ギフト券回収損失引当金	85,121	80,226
その他	39,359	16,681
流動負債合計	3,985,870	5,862,433
固定負債		
長期借入金	800,048	700,072
退職給付引当金	170,936	169,856
役員退職慰労引当金	68,300	41,600
資産除去債務	85,676	85,384
長期預り保証金	1,180,569	1,174,645
固定負債合計	2,305,530	2,171,557
負債合計	6,291,400	8,033,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	5,416,888	4,912,772
利益剰余金合計	9,725,565	9,221,448
自己株式	△16,893	△16,893
株主資本合計	10,685,036	10,180,920
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,807	6,499
繰延ヘッジ損益	82,361	△1,927
評価・換算差額等合計	87,168	4,571
純資産合計	10,772,205	10,185,492
負債純資産合計	17,063,606	18,219,483

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	8,530,999	8,570,669
売上原価	3,635,363	4,194,322
売上総利益	4,895,636	4,376,347
販売費及び一般管理費	4,898,347	4,673,051
営業損失(△)	△2,711	△296,704
営業外収益		
受取利息	297	321
店舗用什器売却益	31,310	26,369
受取ロイヤリティー	320	10,713
その他	2,696	12,807
営業外収益合計	34,624	50,211
営業外費用		
支払利息	-	6,297
店舗設備除去損	8,458	7,099
その他	582	203
営業外費用合計	9,040	13,599
経常利益又は経常損失(△)	22,872	△260,092
特別利益		
補助金収入	-	76,774
特別利益合計	-	76,774
特別損失		
固定資産売却損	248	-
固定資産廃棄損	20,210	15,449
特別損失合計	20,459	15,449
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	2,412	△198,767
法人税等	△7,555	△80,091
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,968	△118,676

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。